

教 員 免 許 状 更 新 講 習

実 施 要 項

1 講習の講座名・目的

「地域科学館等連携講座（屋久島町立屋久杉自然館）」

地域科学館等連携講座では地域の科学館等を会場として講義、実験・観察などの実習により 児童・生徒が実感を伴った理解を図るための科学館等の活用法について紹介します。また、演習により 科学館等の活用を指導計画に位置づけるための考察を深めます。

なお、本講座の実習では、屋久島の自然を学ぶフィールドワークを体験します。

2 日時

1日目 平成21年12月26日（土）午前9時00分～午後5時30分

2日目 平成21年12月27日（日）午前9時00分～午後4時30分

*午前8時45分から受付を行います。現地の交通が不便なため、午前8時30分に屋久島町役場安房支所よりバスを運行しますので、ご利用される方は時間までに安房支所の駐車場にお集まりください。（安房支所の最寄りのバス停は警察署前です）

*交通の関係上、屋久島在住の方以外は、前日（12月25日）までに屋久島に入ってください必要があります。鹿児島から朝一番の飛行機や高速船に乗っても、受講開始時間には間に合いませんのでご注意ください。

3 会場

屋久島町立屋久杉自然館 別館 研修室（鹿児島県熊毛郡屋久島町安房 2739-343）

ホームページ：<http://www5.ocn.ne.jp/~yakumuse/>



アクセス：

屋久島交通バス

「屋久杉自然館前バス停」下車
もしくはタクシーの利用となります。

* 集合場所：別館 研修室にお集まりください



集合場所
(8時45分)

4 時程

12月26日(土)

- 8:45 集合・受付開始 1
- 9:00 オリエンテーション、講義
- 10:00 実習 A「屋久島の自然の魅力と不思議」 2
B「屋久島の自然を生かした農業」
* 2グループに分かれて2日間でAとBの実習を体験します。
* 実習の内容にあわせて1時間程度の昼食、休憩時間をとります。
- 14:00 実習 「屋久島の歴史 - 屋久杉利用の歴史を中心に - 」
- 16:00 休憩
- 16:15 講義
- 17:15 諸連絡
- 17:30 終了

12月27日(日)

- 8:45 集合・受付開始 1
- 9:00 前日の講習のふりかえり、グループ討議
- 10:00 実習 A「屋久島の自然の魅力と不思議」 2
B「屋久島の自然を生かした農業」
* 1日目と交代して別の実習を体験します。
* 実習の内容にあわせて1時間程度の昼食、休憩時間をとります。
- 14:00 演習
- 15:00 休憩
- 15:15 筆記試験
- 16:15 アンケート記入、今後の手続きについて
- 16:30 終了

- 1 遅刻・早退はできません。遅刻されますと履修の認定ができませんのでご注意ください。
- 2 昼食は実習時間内に現地ですることになりますので、各自でご持参ください。

5 内容

1日目(12月26日)

(1) オリエンテーション、講義 (60分)

- ・ 講習内容の説明と諸注意
- ・ アイスブレイク、実習グループ分け(5名×4グループ)
- ・ 地域の科学館等の活用について

(2) 実習 (180分)

A 「屋久島の自然の魅力と不思議」

- ・ フィールド実習(ヤクスギランド) *降雪時は西部照葉樹林にて実施
- ・ 屋久島の概要、自然の特徴、魅力と不思議
- ・ 森の体感、フィールド学習を教育現場に活かす

B 「屋久島の自然を生かした農業」

- ・ 座学(原区公民館)
「産業としての屋久島の農業の過去・現在・未来、そして私たちの伝えたいこと」
- ・ フィールド実習
果樹栽培の現地観察と農作業体験

* 2グループに分かれてA、Bどちらかの実習を体験します。2日目は交代して実習を体験します。

(3) 実習 「屋久島の歴史 - 屋久杉利用の歴史を中心に - 」(120分)

- ・ 屋久杉自然館の展示から屋久島の概要を理解する
- ・ 博物館を活かす - 博物館と学校との連携 -

(4) 講義 (60分)

- ・ 地域の科学館等と学校の連携について
- ・ 実践事例の紹介、児童・生徒が実感を伴った理解を図るための活用法 など

2日目(12月27日)

(5) グループ討議(60分)

- ・ 前日の受講内容の振り返り

(6) 実習 (180分)

A 「屋久島の自然の魅力と不思議」

B 「屋久島の自然を生かした農業」

* 1日目と交代して別の実習を体験します。

(7) 演習(60分)

- ・児童・生徒が実感を伴った理解を図るための地域の科学館等を活用した授業プランの作成
- ・受講者どうしでの授業プランの紹介

(8) 履修認定試験(筆記試験)(60分)

- ・講義及び実習・演習の中から出題します

6 履修認定について

筆記試験の評価及び認定を行い、約1ヶ月後に免許状更新講習履修証明書を発行・送付いたします。

なお、免許状更新講習履修証明書がお手元に届く前に確認したい場合については、教員免許更新講習システムでも確認できますので、必要に応じてご確認ください。

7 事前にご準備いただくもの

5(7)で地域の科学館等の活用を指導計画に位置づけた授業プランの作成演習を行いますので、必ず事前に地域の科学館等について次のような点を調べて資料を収集してください。

- ・地域にどのような科学館等があるのか(近くにない場合は遠方でも構いません)
- ・上記、地域の科学館等の施設の概要、活動や展示物の特徴
地域の科学館等を事前に訪問できない場合は、インターネットを利用して地域の科学館等のHPから調べてください。
- ・収集した資料を基に、ご自分の授業でどのような活用ができるかを事前に考えておいてください。

8 当日、お持ちいただくもの

- ・受講票(教員免許更新講習システムよりダウンロードし写真貼付)
- ・身分を証明するもの(公的機関発行の写真付のもの)(例) 運転免許証、旅券等
- ・授業プラン作成用の資料
講座の中で地域の科学館等の活用を指導計画に位置づけた授業プランを作成しますので、教科書など関連分野の指導計画作成に関する資料、7で収集した地域の科学館等に関する資料をお持ちください。
- ・筆記用具
- ・フィールド実習に必要な用具
山歩きに適した服装(靴はトレッキングシューズかスニーカー)、リュックサック(デイパック程度)、水筒、雨具(登山用の合羽と折り畳み傘)、帽子、タオル、軍手、行動食(おやつ)等

9 問い合わせ先

独立行政法人科学技術振興機構

理数学習支援部(教員支援担当) 免許状更新講習事務局

電話 03 - 5214 - 7634 平日 午前10時00分～12時00分
午後13時00分～17時00分

メール menkyo@it.tokyo.jst.go.jp

当日、緊急の場合は 携帯電話 090 - 2665 - 5332 にご連絡ください。

10 その他

交通の関係上、屋久島在住の方以外は、前日(12月25日)までに屋久島に入
ていただく必要があります。鹿児島から朝一番の飛行機や高速船に乗っても、受
講開始時間には間に合いませんのでご注意ください。

宿泊等の斡旋は行っていません。

会場までの交通費等は自己負担となります。

講習風景等の撮影をさせていただく場合がありますので、ご了承のうえご参加く
ださい。撮影を希望されない方は受付時にお申し出ください。